

# 「地域とともにある学校」を目指しています

津島市では、平成28年度、市内全小中学校に「学校支援地域本部」を設立しました。平成32年度から施行される新学習指導要領を見据えると共に、少子・高齢社会での地域づくりを学校を核に進めようというものです。

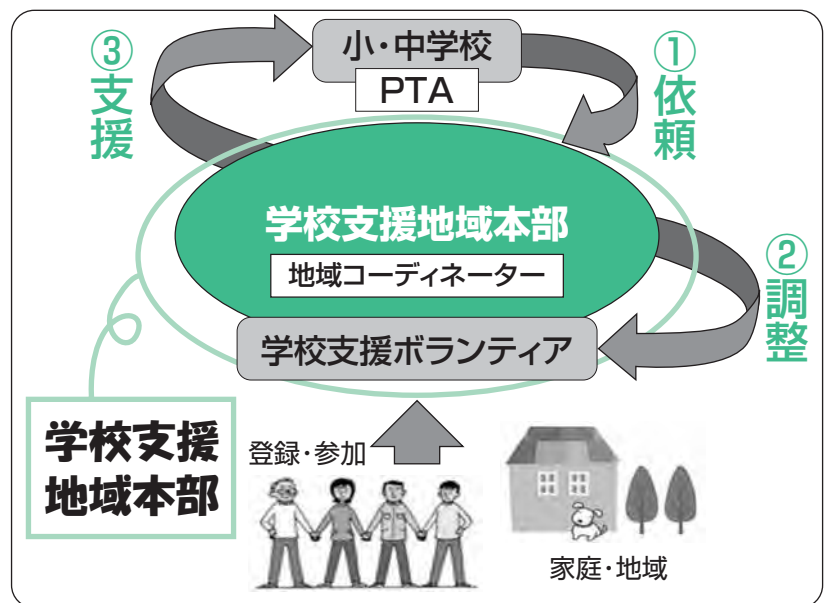
## 武藤教育長より

津島市の将来を見据えた教育の方向として「地域とともにある学校」「社会総がかりで子育てを進める教育」を目指していきます。それぞれの校区で顔の見える関係をつくりながら、人の和の中で子どもが育てられる町づくりに取り組んでいきます。よろしくお願いします。



## 学校支援地域本部とは

文部科学省が平成20年度から進めている事業で、既に全国約1万校の小・中学校で取り組まれています。地域本部の仕組みは右図のように、「学校の求め(ニーズ)と地域の力をマッチングして、より効果的な学校教育支援を行い、教育の充実を図り、次世代の人づくりを進めるもの」です。地域の各団体と緩やかなネットワークを構築し、学校支援地域本部が調整役となり、つながり力でより多方面からの地域の人材を確保し、次代の子どもたちの育成に尽力していただきます。教師が子どもと向き合う時間を増やし、子どもたちの学力向上、地域住民の生きがいづくり、地域教育力の育成を目指しています。



## 地域コーディネーター活動へのご協力を!

学校と地域とをつなぐのが地域コーディネーターの役目です。市内全小・中学校に配置しました。学校のニーズに応じて、地域ボランティアさんを募り、派遣する(学校と地域をつなげる)活動を推進しています。学校からは授業支援・学習支援、図書支援、見守り安全支援、環境整備支援、外国人支援など、様々な支援の要請があります。

皆様の知識・技能・技術を次代の津島市を支える子どもたちのためにお貸しください。地域の皆様の献身的な支援(ボランティア)なくして、学校支援は成り立ちません。「地域コーディネーター」が地域の皆さんにボランティアのお願いをすることがありますので、ご理解ご協力をいただき、ご支援いただける方は、各小・中学校の教頭または、地域コーディネーターまでご連絡ください。

## ボランティア募集のお知らせ

地域の皆さんで、支援をしていただける方は、各学校支援地域本部へのボランティア登録が必要になります。また、学校での授業などの学習支援を希望する大学生の方には、一括して右記の「津島市学校支援地域本部(教育委員会内)」でボランティア登録を行っています。ボランティアを試みたい、教師を目指したい方は、是非ご連絡ください。

### 津島市学校支援地域本部

トータルコーディネーター  
梶村

TEL 080-7847-9510  
FAX 25-8748

REDISCOVERY TSUSHIMA

# 短編小説コンテスト 受賞作品決定!

まちの魅力を再発見し、それを情報発信してまちのイメージアップを図り、まちのにぎわいを創出することを目的に「津島“にぎわい”創出プロジェクト」を実施しています。プロジェクトの一つである「REDISCOVERY TSUSHIMA 短編小説コンテスト」は、昨年7月1日から10月31日までの期間に津島を舞台にした短編小説を募集したところ、全国から102編の応募がありました。1月23日に最終選考会を行い、下記のとおり受賞作品が決定しました。



## 「ダナモさん」 とら ましん かん 寅間心閑 (東京都)

【あらすじ】 別れた男を追って東京から津島に引っ越してきた「私」は、働き始めた居酒屋の客「ダナモさん」に段々と惹かれていく。



受賞作品集を配付します  
大賞・佳作受賞3編を収録した冊子を市内公共施設等で無料配付します。受賞作品はいずれも身近なまちを舞台に繰り広げられる素敵な物語です。ぜひお読みください。

### 配付場所

市役所、神守支所、神島田公民館、生涯学習センター、図書館、文化会館、観光交流センター、津島おもてなしステーションなど

問合せ 企画政策課歴史・文化のまちづくり推進G  
内線 23333・23334



## 「天王通りの喫茶店が 売られる日」

わし お ゆう じ 鷺尾裕二 (三重県)

【あらすじ】 主人公と交流があった天王通りの喫茶店主のおばさん。その喫茶店を売ることになった一日に、主人公がいろんなことを思い巡らす。



## 「大きな金魚」

ます だ じゆん いち 舩田順一 (香川県)

【あらすじ】 香川県で育った孤児の主人公が、出張に行った津島市で津島神社のお守りと尾張津島天王まつりの宵まつりの巻藁舟をトリガーに偶然に生みの母に会える。

# いわき市からの便り

津島市では、平成24年度から毎年、東日本大震災の被災自治体への復興支援として、福島県いわき市へ職員を1人派遣しています。

昨年4月から、いわき市観光交流室観光事業課で職務に励んでいる横山主事から便りが届きましたので、ご紹介します。

いわき市は、昭和41年に5市4町5村が合併してできた市です。東京から電車で約2時間、福島県の東南端に位置し、茨城県と境を接し、東は太平洋に面しています。いわき市沖には、暖流と寒流が交わる潮目があり、その影響で夏は涼しく、冬は温暖で非常に過ごしやすく、雪はほとんど降りません。日照時間は全国有数の長さを誇り、「サンシャインいわき」と言われています。

今年度は、いわき市が誕生して50周年を迎える大きな節目の年です。シンボルフレーズ「いわきステキ半世紀」のもと「50周年、50の記念事業」と銘打ち、市内各地や各部等において様々な事業が行われています。

私が所属している観光事業課でも「明るく元気ないわき市」を広く発信すべく、様々な取り組みを実施しています。その中のひとつとして、「いわきサンシャイン博」を実施しており、市内全域を博覧会場に見立て、13エリアに分けて展開し、「観る、学ぶ、交流する」をテーマに、いわき市が全国に誇れる観光資源や地域のイベントなどを結び付け、魅力あふれるプログラムを提供しています。

私はその中でも、いわきサンシャイン博夏季オープニングイベントである「海開き式」や、10月1日メインイベントにおいて行いました、いわき市の半世紀を振り返るとともに未来を描いた「プロジェクションマッピング」の投影等に携わらせていただきました。



▲プロジェクションマッピング

観光事業課の一員として、全国に誇れるいわき市の魅力をたくさんの方々に発信できるよう精いっぱい努力し、津島市では経験のできない様々な業務を経験したことは、私の財産になりました。

他にもいわき市には、水産品や農産品等のいわきの幸や、魅力あふれる観光地、風光明媚な景勝地など盛りだくさんです。いわき市に訪れたことがない方はもちろん、再訪される方も満足して楽しんでいただけることと思います。ぜひ「明るく元気ないわき市」にお出かけください!

▶海開き式の様子

